

市村産業賞 申請書〈本編〉記入要領

記入上の留意事項

- (1) 申請書〈本編〉は所定の様式で5ページ以内に要領よくまとめてください。各記述欄で余白が目立つ場合は、改行の削除などを行い、体裁を整えてください。
- (2) 所定の欄に記入できない場合も、すべてを「別紙」としないで、指定の欄内に要旨をまとめて記入し、詳細説明は別紙で提出してください。
- (3) 財団ホームページからダウンロードした申請書〈本編〉に簡潔に記入してください。
- (4) 上記ダウンロードした申請書〈本編〉をテンプレートとして使用する場合は、テンプレートに直接書き込むか、別途作成したテキストから「コピー」&「ペースト」で貼り付けてください。ただし、その場合は別途作成したテキストの書式が保持されますので、「貼り付け」→「形式を選択して貼り付け」→「テキスト」で貼り付けていただくと、テンプレートの書式（MS 明朝 10.5 ポイント、英数字は Century）に変換されます。

記入要領

(1) 受賞候補題名

技術内容が端的にわかるように、30字以内の簡潔な題名をつけてください。題名中に括弧は使わないでください。商品名の使用はご遠慮ください。

(2) 申請企業名、代表者（役職・氏名）

申請者が所属する企業名とその企業の代表者名（社長名）を記入してください。申請者が複数の場合は、筆頭者が所属する企業名とその企業の代表者名（社長名）を記入してください。

(3) 申請者（受賞候補者）

申請者は3名以内とし、勤務先の所属は部レベルまでで結構です。大学や公的研究機関との共同申請の場合には、企業の方を筆頭者にしてください。申請者の所属企業が異なる場合は、代表となる企業の候補者を筆頭者にしてください。氏名には必ず「ふりがな」を付けてください。なお、大学や公的研究機関の申請者のみでは応募できません。

(4) 通常連絡者

通常連絡者は、本件の窓口として常時連絡がとれる方をお願いします。

(5) 「1. 業績概要」

技術開発の ①目的と意義 ②キーとなった技術 ③開発結果と成果 などについて、700字以内で簡潔にまとめてください。

(6) 「2. 技術開発の背景」

本技術開発の動機、目的などを具体的に簡潔に記入してください。

(7) 「3. 技術開発経過」

開発開始から現在までに実施した事項とその結果・成果を時系列で箇条書きにしてください。

(8) 「4. 知的財産権」

本開発技術に直接関係のある知的財産権の件数を記入し、主要なもの（10件以内）については、その番号・名称を記入し、公報に掲載された明細書等のコピーを別添で提出してください。また、他社への技術ライセンス状況・予定など差しつかえない範囲で記入してください。

(9) 「5. 普及状況」

現在までの普及状況および今後の普及予測について、適用製品、生産実績、販売数量・金額、シェアなどの推移を、国内・ワールドワイドを明確にして具体的に記入してください。

(10) 「6. 開発技術の特長」

開発した技術の①原理・構造、②機能・性能など技術の構成を述べ、その中で③国際的な評価で新規・独創的な「キー技術」を箇条書で、④従来技術との比較は特長項目毎に具体的、定量的に比較し図表で示し、⑤その技術の波及効果や⑥将来性についてもできるだけ具体的に記入し、2ページ以内にまとめてください。

(11) 「7. 効果」

普及したことによる社会・経済的効果や福祉・安全性・快適性などの向上、地球環境保護・保全など公共の利益にどのような寄与をしているか、あるいは寄与できるかについて具体的に記入してください。

(12) 「8. 受賞歴」

本業績に関して過去の受賞を記入してください。

(13) 「9. 開発技術の公表」

本技術開発に関する公表された研究・技術論文、講演資料、専門誌等への掲載資料、新聞記事など代表的なもの（10件以内）の名称、題名等を記入してください。また、申請書のどの項目、部分に対応するのかを明記して別添してください。

(14) 「10. その他」

技術の特長など上記の欄に記入できないことや、特に重要なことがありましたら記入してください。

(15) 「実地調査場所」

申請書記載の内容について必要に応じて、現地での実地調査をさせていただくことがあります。調査先1ヶ所を指定し、現地案内図を添付してください。

問合せ先：公益財団法人 市村清新技術財団
〒143-0021 東京都大田区北馬込 1-26-10
電話：03-3775-2021 FAX：03-3775-2020
HP：http://www.sgkz.or.jp E-mail：zaidan-mado@sgkz.or.jp